

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社是
限りなき進歩と創造売上高
72,700百万円営業利益
14,000百万円償却前営業利益
25,500百万円生産能力
1.5倍以上

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の拡大と対応

ライフサイエンス事業で販売量増加、電子材料で半導体市況回復に対応。拡大する需要を確実に取り込む。

3. 供給力強化と設備投資

2023年4月完成の鹿島設備、2024年10月の京都設備稼働。2025年7月の追加設備予定で生産能力強化。

2. 新規事業・分野への投資

既存事業に続く成長性ある第3の柱構築。新規開発品の海外拡販推進。

4. 海外事業展開の推進

ライフサイエンス事業部に国際部新設。海外子会社5社管轄で販売管理・製品管理一括化。

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不透明性

- ・ 米国関税政策、地政学リスク、為替動向などで景気先行き不透明
- ・ 米中半導体摩擦やトランプ政権の相互関税影響への対応
- ・ 円高進行、原料・エネルギー価格の高止まりに対処

② ライフサイエンス事業の課題

- ・ 海外メーカーとの競争が一層厳しさを増している
- ・ 高純度有機酸アプリシヤスの早期安定生産と新規顧客獲得
- ・ 国内外での生産体制見直しによる効率化

③ 電子材料事業のリスク対応

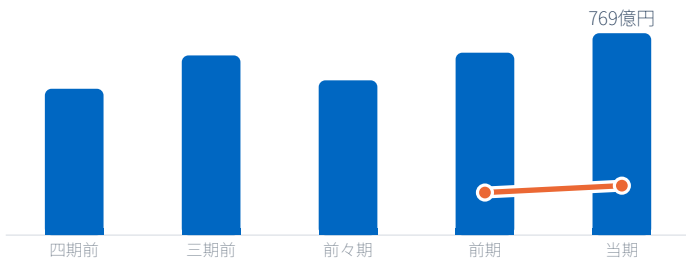
- ・ 主要原材料調達国の分散化・複数購買化の検討実施
- ・ 半導体微細化・高集積化ニーズへの製品開発対応
- ・ 半導体以外分野への展開（高速通信、化粧品用途など）

面接で使えるポイント

- ・ FUSO VISION 2025で目標売上高850億円に向け、金メダル製品開発を追求。
- ・ 2024年度売上高69,501百万円で17.9%増加、営業利益46.4%増加。半導体市況回復をキャッチできた実行力。
- ・ 鹿島・京都事業所の新設備投資で2022年度比1.5倍以上の生産能力強化。設備投資採算性を重視した戦略的投資。

証券コード 4368

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
769億円営業利益率
24.5%財務健康度
80点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 63.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
758万円

化学内 77位/204社

平均年齢
41.6歳

化学内 120位/204社

平均勤続
12.0年

化学内 164位/204社

女性管理職
1.7%

化学内 163位/173社

男性育休
71.4%

化学内 108位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 扶桑化学工業(株)【4368】：決算情報

